

V. その他報告(代表理事 杉尾 哲)

1. 活動が評価されました

●令和3年度河川基金助成事業優秀成果表彰の受賞

令和2・3年度に河川基金で助成されて実施した大淀川の絶滅危惧植物の保全活動について、川づくり団体部門にて優秀成果表彰を受賞した。皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。表彰式が東京で行われ、表彰状と記念品が授与された。

令和3年度河川基金助成事業表彰式

開催日：令和5年2月28日(火)

開催場所：東京・TKP ガーデンシティ御茶ノ水



●デル・テクノロジーズ株式会社 CSR 活動のオフィシャルパートナーに登録

令和5年3月に、デル・テクノロジーズ株式会社が行う CSR 活動のオフィシャルパートナーとして当団体が登録された。そもそもは日本 NPO センターからの仲介で、Dell 宮崎カスタマーセンターの環境ボランティア活動としてクリーンアップと簡易水質調査のイベントを共催した。

実施日：令和4年8月14日(土)

実施場所：大淀川河口付近右岸河川敷

参加者：Dell 社員とその家族 31 名



●延岡高校の文部科学省SSH事業のフィールドワークを指導

令和4年10月に、宮崎県立延岡高校からの依頼で、同校の文部科学省SSH事業のフィールドワークで北川霞堤前の河川環境の測定と評価を指導した。指導は、当団体4名に加えて、宮崎県河川課と延岡土木事務所の3名と地元団体の1名の協力を得て、午前と午後の2回に分けて実施した。

実施日：令和4年10月14日(金)

対象者：延岡高校普通科生徒 81 名と関係職員

測定項目：川づくりチェックシート、五感を使った調査項目(CODを除く)など



以上の3件は、本団体の環境活動が社会的に評価されていることを客観的に示していると考えます。これに満足することなく、次世代にうるおいのある川を受け渡すために、今後もさらに充実させて実施すべきであると評価します。

2. 理事会を開催しました

令和4年度の理事会は、隔月で午後3時から計6回開催した。

第1回 令和4年4月14日(木) オンラインにて開催 5名出席

通常総会の開催方法、令和4年度の活動予定、大淀川リビングの実施などについて協議

第2回 令和4年6月23日(木) 宮崎市民活動センター 4名出席

DELL社ボランティア活動の共催、10/23イベント、宮崎観光ホテルとの連携などについて協議

第3回 令和4年8月18日(木) オンラインにて開催 5名出席

大淀川フェス2022、イオン環境活動助成の申請などについて協議

第4回 令和4年10月13日(木) 宮崎市民活動センター 4名出席

大淀川クリーンアップ、大淀川フェス、九州「川」のワークショップの実施などについて協議

第5回 令和4年12月20日(火) 宮崎市民活動センター 6名出席

大淀川フェス2023、大淀川クリーンアップ国富会場などについて協議

第6回 令和5年2月16日(木) 宮崎市民活動センター 6名出席

定款変更、九州河川協力団体連絡会議、全国一斉水質調査、通常総会、広報誌などについて協議

3. 「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」を運営しました

この研究会は、宮崎県との協働事業として平成19年度から実施していて、本団体が事務局を務めている。河川に携わる行政や企業の技術者に対する多自然川づくりの人材育成として、水辺の工法研修会、川づくりコンペ、身近な水辺のモニター報告会、現地研修会などを開催している。本年度も、新型コロナウイルスの影響を受けて、開催方法を工夫して実施した。

●水辺の工法研修会の開催

本年度の研修会は、第1回は対面方式で開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して第2回と第3回は受講者数を制限した対面方式とオンライン方式の併用で開催した。

1) 令和4年度 第1回研修会

実施日: 令和4年6月16日(木) 会場:日向市中央公民館

令和4年6月17日(金) 会場:宮崎市清武文化会館

講師1: 宮崎県各土木事務所 河川担当職員

題名: 令和3年度宮崎県川づくりコンペ受賞課題

講師1-1: (旧)西都土木事務所 佐土原 寛人 氏

題名: 大聖牛設置による効果のモニタリングと伝統的川づくりの継承への取り組み

講師1-2: 日向土木事務所 久保田 基寛 氏

題名: 五十鈴川大池地区における河川環境に配慮した河道掘削

講師1-3: 延岡土木事務所 時任 大輔 氏

題名: 治水安全度の向上と生態系に配慮した河道掘削について

講師2: 熊本県立大学 特別教授 島谷 幸宏 氏

題名: 流域治水に関する熊本県の取り組みについて

受講者数: 行政41名、民間657名



2) 令和4年度 第2回研修会

実施日: 受講者数を制限した対面方式 令和4年8月30日(火) 会場:宮崎県防災庁舎

受講者数: 行政16名

期間: オンライン方式 令和4年9月20日(火) 7:00~9月30日(金) 21:00

受講者数: 行政6名、民間786名

講師1: 宮崎野生動物研究会 副理事長 中村 豊 氏

題名：河川に関りを持って生息する野鳥の生態
講師 2：名古屋工業大学 教授 萱場 祐一 氏
題名：中小河川における多自然川づくり

3) 令和4年度 第3回研修会

実施日：受講者数を制限した対面方式 令和4年10月5日（水） 会場：宮崎県防災庁舎

受講者数：行政 21 名

期間：オンライン方式 令和4年11月9日（水）7:00～11月11日（金）21:00

受講者数：行政 3 名、民間 468 名

講師 1：土木研究所自然共生研究センター センター長 森 照貴 氏

題名：多自然川づくりを進めるために河川環境の現状を把握する

講師 2：宮崎大学 教授 入江 光輝 氏

題名：山腹崩壊地からの流出土砂による濁水発生の定量化とその改善対策について

●身近な水辺のモニター担当者への説明会の開催

各土木事務所で河川モニターと実施する川の生き物のすみかの環境調査シートによる河川特性調査について、実施方法を解説して、河川での実習を行った。

実施日：令和4年5月27日（金）

会場：綾町役場 第三会議室・本庄川 松原公園

講師：九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏

参加者数：県河川課と土木事務所 11 名



●水辺の工法 現場研修会の開催

昨年度に続いて防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の現場における多自然川づくりの考え方の知見と技術の習得を目的として、行政職員と企業技術者を対象として、講義とグループ学習、グループ発表を実施した。

実施日：令和4年6月10日（金）

会場：宮崎県建設技術センター 大会議室

講師：九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏

講義名 樹木伐採・河床掘削における留意点や適切な方法等について

参加者数：行政 14 名、施工会社 17 名



●第16回うるおいのある川づくりコンペの開催

「私たちがめざすうるおいのある川や水辺はどんな姿なのか」について、河川で活動する企業・行政に呼びかけて開催した。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、対面方式で審査会を開催した。審査の結果を以下に示す。

【金賞】団体名：都城土木事務所

テーマ：大淀川水系上流域における河道掘削工事の工夫

【銀賞】団体名：宮崎河川国道事務所

テーマ：地元との合意形成 地産品（新燃レンガ）～都城かわまちづくり～

【銀賞】団体名：西臼杵支庁

テーマ：「神代川かわまちづくり」における取組について

【銅賞】団体名：串間土木事務所

テーマ：自然環境に配慮した福島川の河道掘削について

【銅賞】団体名：延岡河川国道事務所

テーマ：五ヶ瀬川方財地区における河川環境に配慮した河道掘削

【銅賞】団体名：宮崎土木事務所

テーマ：井倉川における多自然川づくりに配慮した河道掘削について

審査の結果、都城土木事務所と串間土木事務所の2件が宮崎県河川課の代表として九州ブロック川づくりコンペの発表課題に選出された。なお、都城土木事務所と国交省から応募した宮崎河川国道事務所の課題は九州大会で優秀賞を受賞して全国多自然川づくり会議の九州代表に選出された。

実施日：令和4年7月28日（木）

会場：県電ホール

発表団体数：13団体

審査員：宮崎河川国道事務所 副所長 中島 忠 氏
延岡河川国道事務所 副所長 杉田 聡 氏
宮崎県県土整備部 河川課長 山浦弘志 氏
宮崎大学工学教育研究部 准教授 大柴 薫 氏
NPO 法人手仕事舎そうあい 理事長 蒲生芳子 氏
五ヶ瀬川流域ネットワーク 顧問 土井裕子 氏
九州河川研究所 代表 杉尾 哲 氏



●身近な水辺のモニター報告会の開催

県内12か所の土木事務所等で地域住民の方々をお願いしている水辺のモニターの報告会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、対面方式で開催した

実施日：令和5年2月10日（金）

会場：県電ホール

コメンテーター：元宮崎県県土整備部長 東憲之介 氏

発表団体数：12団体



以上の宮崎県との協働事業は、多自然川づくりのための人材育成として機能している。水辺工法の研修会は、第1回は対面方式で開催したが、第2回と第3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して、受講者数を制限した対面方式と、人数を制限しないオンライン方式で開催した。この研修会の開催が本県の多自然川づくり推進の原点であり、その成果として九州ブロックの川づくりコンペや全国多自然川づくり会議などにおいて本県の川づくりが高く評価されている。次世代にうまいのある良い川を受け渡すために、今後も対面方式で開催できることを期待します。

4. 河川協力団体として活動しました

本団体は、大淀川下流域の河川協力団体として活動している。その活動として、宮崎河川国道事務所と住民団体との連携・協働、防災や環境情報の収集、河川に対する住民の理解の促進を図るた

めに、下記の業務と活動を行った。

●みやざき川づくり交流会の運営補佐

宮崎河川国道事務所が住民団体との意見交換・情報共有を図る「みやざき川づくり交流会」の運営を補佐している。今年度は、令和5年2月に宮崎河川国道事務所に対面方式での開催が準備されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮して書面会議方式に変更して開催された。各団体の活動などのトピックスやコロナ禍において活動できた事例、次年度の取組み予定などの報告が取りまとめられた冊子が作成されて配布された。

●簡易水質調査の実施補助

宮崎河川国道事務所が地元の小学校等と共に実施する簡易水質調査において水生生物調査の実施補助を担当し、水辺での活動時の安全管理を行った。

実施日：令和4年6月2日（木）

実施場所：綾町松原自然公園



河川協力団体としての活動は、宮崎県内の環境団体との連携を深めるとともに、国土交通省との相互理解を深め、本団体の活動を連携して推進するのに極めて重要である。今後も積極的に継続すべき取り組みであると評価します。